院外処方箋に記載されている検査値一覧表

Ver.20181127

略号	検査項目名称	項目の説明	基準値			単位
				下限	上限	
WBC	白血球数	感染症などの炎症性疾患、白血病などの血液疾患で異常値を示すほか、薬剤の影響も反映します。		3.3	8.6	10^3/μL
Hb	血色素量（ﾍﾓｸﾞﾛﾋﾞﾝ量）	赤血球内の酸素を運ぶタンパク質の量です。貧血や多血症の診断に有用です。	M	13.7	16.8	g/dL
			F	11.6	14.8	
PLT	血小板数	出血した際、止血のために働く血球で、その数は、出血傾向や止血機能の診断に有用な検査の一つです。		158	348	10^3/μL
PT-INR	ﾌﾟﾛﾄﾛﾝﾋﾞﾝ時間（標準比）	血液の凝固能を示す検査値で、ワルファリン服用のモニタリングとして有用な指標です。出血傾向や肝機能の検査としても用いられます。		－	－	－
AST（GOT）	ｱｽﾊﾟﾗｷﾞﾝ酸ｱﾐﾉﾄﾗﾝｽﾌｪﾗｰｾﾞ	心臓、肝臓などに多く含まれる酵素で、臓器の障害により、血液中の濃度が変化するため、障害の指標として有用な検査です。		13	30	U/L
ALT（GPT）	ｱﾗﾆﾝｱﾐﾉﾄﾗﾝｽﾌｪﾗｰｾﾞ	肝臓に一番多く含まれる酵素で、臓器の障害により、血液中の濃度が変化するため、障害の指標として有用な検査です。	M	10	42	U/L
			F	7	23	
T-Bil	総ﾋﾞﾘﾙﾋﾞﾝ	胆汁の主成分の一つで、黄疸の診断に有用です。直接、間接ﾋﾞﾘﾙﾋﾞﾝを検査すれば、黄疸の原因や種類を見分けるのに有効です。		0.4	1.5	mg/dL
Neut	好中球	細菌などの異物を貪食、殺菌処理して生体防御に関与します。細菌感染症や炎症などで増加します。		40.0	70.0	%
Scr	血清ｸﾚｱﾁﾆﾝ	筋肉の活動に伴う老廃物で、腎臓で濾過され尿中に排泄されます。腎機能障害の指標に有用で、障害があると高値となります。	M	0.65	1.07	mg/dL
			F	0.46	0.79	
eGFR	推算糸球体濾過量	血清ｸﾚｱﾁﾆﾝ値から計算され、腎臓が老廃物を濾過・排泄する能力を表す数値で、腎機能評価の指標の一つです。		－	－	ml/min/1.73m^2
Ccr	推算ｸﾚｱﾁﾆﾝｸﾘｱﾗﾝｽ	血清ｸﾚｱﾁﾆﾝ値から計算され、腎臓が老廃物を濾過・排泄する能力を表す数値で、腎機能評価の指標の一つです。		－	－	ml/min
CK	ｸﾚｱﾁﾝｷﾅｰｾﾞ	筋肉に多く含まれる酵素です。心筋梗塞や筋肉の障害や異常があると、血液中の濃度が上昇します。	M	59	248	U/L
			F	41	153	
CRP	C反応性蛋白	炎症や組織の障害がある場合に血液中の濃度が上昇します。炎症の診断に有用な指標の一つです。		0.00	0.14	mg/dL
K	ｶﾘｳﾑ	電解質バランスの指標です。神経伝達や筋収縮に関与し、神経や筋肉のはたらきを調節しています。		3.6	4.8	mmol/L
HbA1c	糖化ﾍﾓｸﾞﾛﾋﾞﾝ	糖尿病などの血糖ｺﾝﾄﾛｰﾙの指標として有用な検査です。約2カ月前からの血糖の状態を知ることができます。		4.9	6.0	%
ALB	血清ｱﾙﾌﾞﾐﾝ	血液中の蛋白質の約50～65%を占める成分です。肝・腎機能や栄養状態の評価として有用な検査で、障害があると低値になります。		4.1	5.1	g/dL

独立行政法人　地域医療機能推進機構　九州病院　薬剤部